

# 第20回平成塾のご案内

春の総会時に続きまして、秋に第20回平成塾を開催いたします。講師は、慶應義塾大学教授の渡邊頼純さん（29期）です。このたび、六甲在校生に対して行うOB課外講義のため神戸にお越しいただくことになり、昼間の講義に併せて夜の部での講演をお願いしました。渡邊さんは、六甲卒業後、上智大学で国際関係論を学ばれ、大学で教鞭を取られるとともに、実務においても日本政府代表部やGATT事務局に籍を置かれるなど“学者外交官”としても活躍されてきました。近年では、外務省参与というお立場でTPPに関する国際交渉にも携わっておられます。厳しい外交の舞台裏のお話もお聴きできるのではないかと思います。

**と き** 2014年11月14日(金) 19:00～20:30 (受付は18:30より)

**と ころ** 六甲学院生徒研修所

**会 費** 1,000円

**講 師** 慶應義塾大学教授 渡 邊 頼 純 氏 (29期)

**演 題** 「TPPと日本の経済連携戦略—我が国産業界への影響を中心に—」

人数には限りがありますので、参加ご希望の方はお早めにEメール・FAXまたは電話で伯友会事務局までお申込みください。

Eメール：office@hakuyu.jp FAX：(078)861-6573 電話：(078)861-6588

## 講師プロフィール

1953年 大阪市生まれ。

最終学歴：上智大学大学院 国際関係論専攻

博士後期課程終了（単位取得満期退学、1981年国際学修士、1982年博士候補）

1976年3月 上智大学文学部哲学科卒業。その後ベルギー政府給費留学生としてCollege of Europe（欧州統合専門の大学院）留学。南山大学 経済学部 助教授、同大学ヨーロッパ研究センター長、大妻女子大学 比較文化学部 教授を経て、現在は慶應義塾大学 総合政策学部 教授 兼政策メディア研究科研究委員。

実務経験としては、欧州委員会域内市場総局 研修員（1978-79年）、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部 専門調査員（1985-1988年）、GATT事務局 経済問題担当官（1988-90年）、欧州連合日本政府代表部 専門調査員（1995-1998年）。2002年5月から2004年3月まで、外務省大臣官房参事官兼経済局（ロシアのWTO加盟、日メキシコ経済連携協定、日EU経済協議、ASEM等担当）、2004年4月から11月まで外務省参与。専門は、国際政治経済論、GATT/WTO法、欧州統合論。

主要著書：『WTOハンドブック』（編著、JETRO、2003年）、『解説 FTA・EPA交渉』（監修、日本経済評論社、2007年）、『GATT・WTO体制と日本—国際貿易の政治的構造—』（北樹出版、2007年、増補版2011年）、『TPP参加という決断』（ウェッジ、2011年）

